

「巡礼大国」と言われる日本には、全国各地に記録上のものも含めて1500以上の巡礼札所めぐりがこれまで開創されてきたと言われ、能登では「能登国三十三観音巡礼」が知られている。これとは別に、能登町宇出津から穴水町にかけての旧諸橋郷を中心に、1番・明泉寺（穴水町）から33番・来迎寺（同）まで33の寺院をめぐる「諸橋三十三観音巡礼」があったことが知られ、各寺の巡礼歌・御詠歌（聖地や靈験が詠み込まれた短歌）が残されている。巡礼歌を味わいながら、通常の観光ではあまり足を運ばないこれらの寺院を訪ね歩いた。

【参考】『能登国三十三観音のたび』（西山郷史など著／NPO法人 能登ネットワーク刊）、『伝説とロマンの里』（西山郷史著）、『能登町史』、西山郷史氏作成資料、善洞宗石川泉宗務所のホームページ、各寺の説明板など